

あなたと町政を結ぶ



議会だより

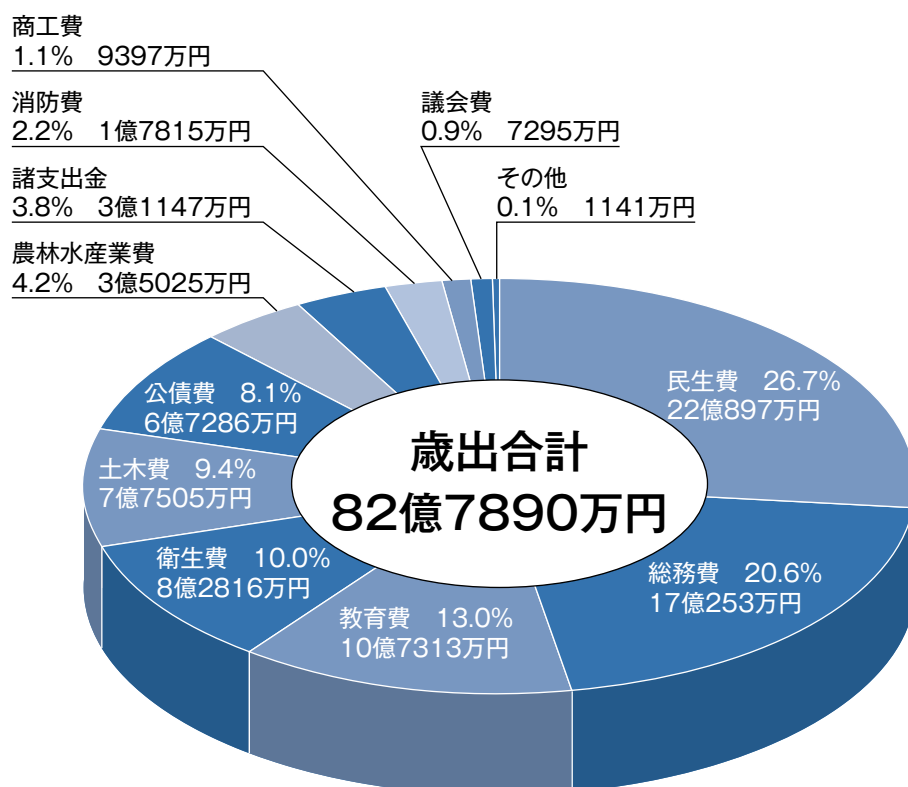
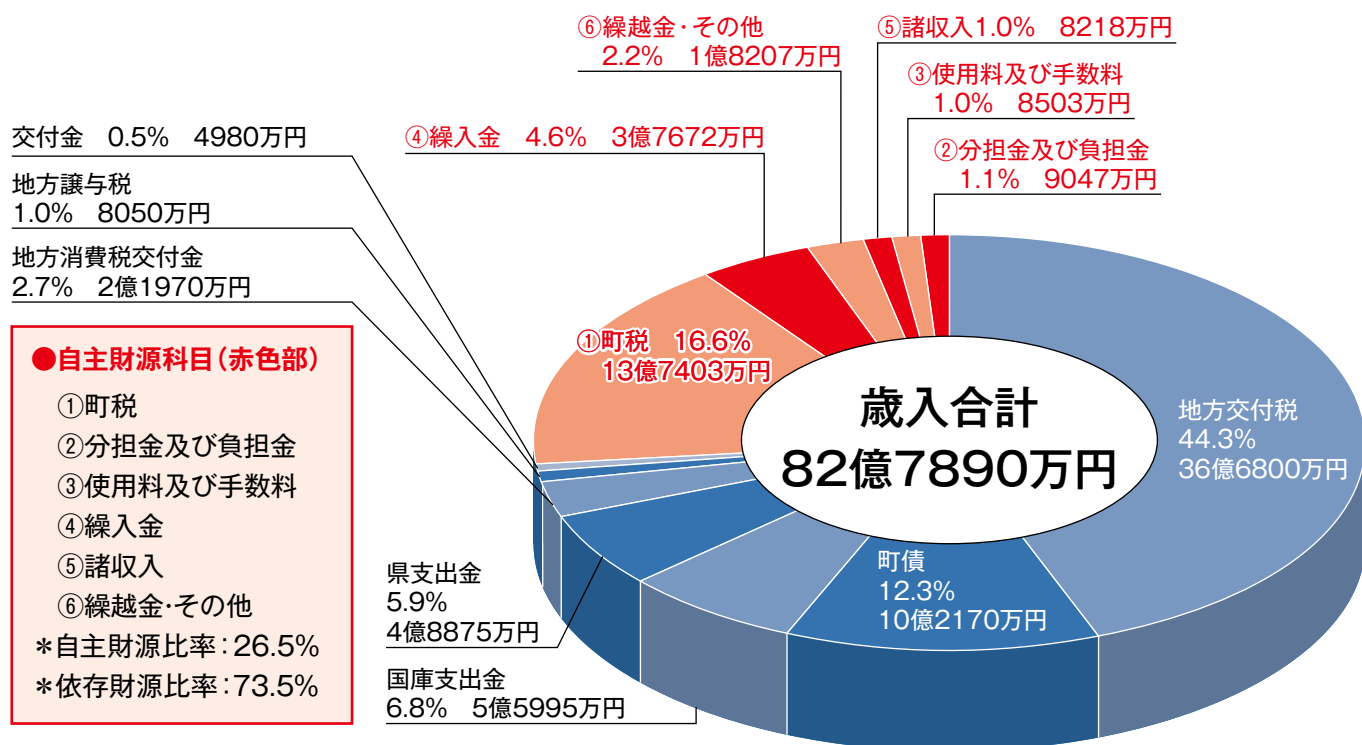
2017
GIKAI DAYORI
MINOBU
No.50

3月定例会

■ 予算議会	P.2 ~ 3
■ 町長施政方針	P.4
■ 教育長教育方針	P.5
■ 一般質問	P.6 ~ 9
■ 特別委員会レポート	P.10 ~ 11
■ 常任委員会レポート	P.12 ~ 13
■ 質疑応答	P.14
■ 討論	P.15
■ 議案に対する賛否	P.16
■ 民生委員・児童委員と議員との懇談会	P.17
■ 組合議会報告	P.18
■ モニター通信	P.19
■ おじゃまします	P.20

対前年度比2.4%減 を可決!

予算議会 3月定例会



※グラフ中の%は構成比を表す。
※数値は端数を処理してあるため、合計が一致しない場合があります。

平成29年度一般会計 82億7890万円

～住みよいまち、
住みたくなる町を目指して～

●29年度一般会計の主な事業

- * 町営バス・乗り合いタクシー運行事業
・ 7707万8千円
- * 耕作放棄地等再生整備支援事業
・ 2149万2千円
- * スクールバス運行事業
・ 1億5667万2千円
- * あけぼの大豆振興関係事業
・ 4074万円
- * 観光資源の魅力アップ事業
(みのぶ自然の里活用推進) ・ 7677万3千円
- * 地域おこし協力隊事業
・ 3344万3千円
- * 小中学生保護者負担の軽減
・ 3104万8千円

詳細は町から配付される平成29年度町の予算の使い道をご覧ください。

平成29年身延町議会3月定例会は、3月2日から15日までの14日間の会期で開かれました。

今議会では、29年度一般会計及び特別会計当初予算を始め、条例の制定及び一部改正、28年度一般会計及び特別会計補正予算が提案され、全員賛成または賛成多数により可決されました。

一般質問は、4人の議員が登壇し、買い物弱者への対策、子供の貧困、みのぶ自然の里事業や農業振興対策などについて、多岐にわたり活発な質問を展開し、町当局の考えを問い質しました。

(▲減)

会計区分		平成29年度予算額	増減率(%)
一般会計		82億7890万円	1.0
特別会計	国民健康保険	21億4264万円	▲ 0.8
	後期高齢者医療	4億8797万円	5.0
	介護保険	22億8595万円	5.3
	介護サービス事業	848万円	14.5
	簡易水道事業	7億9799万円	3.5
	農業集落排水事業	3107万円	17.6
	下水道事業	4億5368万円	▲ 7.1
	下部奥の湯温泉事業	466万円	96.2
	その他12財産区特別会計	391万円	▲ 4.1

(千円以下切捨て)

(前年度比)

町長施政方針



望月幹也町長

「生まれてよかった 育ってよかった

住んでよかった」町を

●地方債残高減少

地方債残高は町民一人当たり80万7千円で、前年度より4万7千円の減額になった。今後も有利な起債の選択等に十分配慮していく。

●29年度一般会計予算

本町の一般財源の主なものは、町税の13億7402万9千円で歳入全体の16・6%である。

地方交付税と臨時財政対策債を合算した実質交付税は39億1800万円で歳入全体の47・3%を占め、財源依存度の高さを再確認した。

●バス運行対策費

町民の移動手段確保のため、デマンド交通システム事業及び赤字バス路線の維持費並びに町有バス運行経費等として7707万8千円を計上し、町内交通網の見直しと利便性向上を図る。

●学童保育室の時間延長と土曜日開設

4月から町内6カ所の学童保育室を6時から6時30分までに延長し、土曜日は西嶋学童保育室と身延福祉センター学童保育室の2カ所で午前8時から午後6時30分まで開設する。

●小学校の閉校、開校

地域の教育と文化の中心として輝かしい伝統を培ってきた小学校が、長い歴史に幕を下ろし、新たに統合小学校として歴史の一步を刻み始める。原小、下部小、下山小は閉校し、4月から新たな下山小として開校し、西島小と久那土小は閉校し、身延清稜小として開校する。閉校する各小学校の伝統を継承し、大勢の友達と出会い、集団の中で多様な考えに触れ、「知・徳・体」のバランスの取れた人間性豊かな児童として成長してくれるもの



下山小学校

と信じ期待している。



身延清稜小学校

●結びに

町づくりは、行政と町民の皆様が、それぞれ役割と責任を担っていくことが大切であると考え、「生まれてよかった、育ってよかった、住んでよかった」と思えるまちを目指して取り組んでいく。

教育長教育方針



鈴木高吉 教育長

町立学校施設整備計画を策定

●小学校の統合

本年4月に開校する「身延清稜小学校」と「下山小学校」については、万全な準備を行いスタートできるように鋭意努力していく。

●子育て世代を支援する施策

- 小中学校入学祝金
- 学校給食費の補助
- 小中学校修学旅行助成金
- 補助教材費の補助
- ICT機器の整備事業（タブレット貸与）
- 外国語指導助手の配置
- 郊外活動費の補助

など

●学校施設・設備

老朽化が進む多くの施設を計画的に改修や建て替えを検討していく必要から、29年度には、町立学校施設整備計画を策定し、計画的に整備していかなければならないと考えている。

●特別支援教育支援員の配置及び特別支援学級の設置

全校に支援員を配置する。

●「学びの向学館」事業

児童生徒の学力向上のため、教員OBの協力を得て中学3年生を対象に夏・冬

休みや土曜日に学習支援を行っている。

●生涯学習に取り組むための施策を展開

- 地区公民館、地域の皆様が交流するコミュニティセッションの場として講座等の充実を図る。

- 町民の皆様の読書活動を推進し、その学習活動を支援するために図書の収集や郷土資料の収集、町民の皆様の調査研究への意欲に応えていく。

- 各種スポーツ教室等を開催する等、生涯スポーツの推進に取り組んでいく。

●文化芸術の振興と文化財の保護

- 湯之奥金山博物館開館20周年の年であり、年間を通して魅力ある事業を計画する。

- 平成30年度は木喰上人生誕300年、これを機会に木喰上人の魅力を全国的に発信するための企画展



木喰仏

●青少年健全育成の推進

をなかとみ現代工芸美術館での開催に向け準備を進める。

青少年育成の諸活動を地区公民館と連携しながら推進する。

事業を実施するにあたっては、町民の皆様、関係団体と協力・協働のうえ、必要とされる事業を取り入れ、事業の見直しを行い、取り組んで行きたい。

ここが聞きたい!

一般質問



深澤 勝 議員

問 人件費が突出している要因は

答 職員数及び退職者が多いため

買い物弱者への対策は

低限、食料品等を確保する手段が必要であるが対策は。

問 この10年間で店じまいした商店数は。商店のない行政区は何割か。高齢者一人世帯及び二人世帯は何世帯か。

観光課長 18年度の小売り卸業商工会会員登録数は244店、28年度は176店で3割が減少し商店のない集落は6割を占める。

町民課長 65歳以上の一人世帯は15338世帯、二人世帯は8299世帯である。

問 商店が集落から消え、醤油1本買う店がない集落は多く存在、高齢者が住んでよかったと実感するには最

政策室長 町営バスの延伸と土曜日運行で利便性を図る。なお、ぬくもり事業で買い物代行、日常生活の困りごと支援を有志の皆様が準備を進めており、町としても支援を予定している。

ピロリ菌感染検査を

問 胃がんの原因の約8割はピロリ菌の感染とされる。県内のがん罹患者は2013年に5414人。身延町のがん罹患者は何人か。

福祉保健課長 27年度町の健康の結果、新規がん罹患者

件数は13件、うち胃がんは2件。

問 山梨県ではピロリ菌の除菌に対する助成制度を実施している。身延町としてピロリ菌保菌の有無を検査する助成制度の検討は。

福祉保健課長 ピロリ菌検査の安全性等専門機関と相談して判断する。

人件費の状況は

問 人件費の28年度当初予算計上額は身延町14億3870万円、市川三郷町12億1540万円、富士川町12億5738万円、南部町8億8950万円、身延町の人件費が突出してい

る要因は。総務課長 1点目は職員数の差である。2点目は退職手当組合納付金で退職者が多いほど多額となる。

問 職種別職員数は。総務課長 28年4月1日現在、一般行政職135名、特別行政職38名、企業会計職員28名、合計201名となる。

問 職員1人が、町民何人を受け持つことになるか。総務課長 身延町では64.8人、市川三郷町87.4人、富士川町92.4人、南部町67.5人である。



芦澤 健拓 議員

問 「みのぶ自然の里」の交付金は受けられるか

答 受けられるよう全力を尽くす

問 県からの無償譲渡を受けて始まった「みのぶ自然の里」は、当初予定の交付金が支給されないようだが、交付金は受けられるのか。

る予定である。

問 身延観光センターを指定管理者にするとのことだが、正式決定か。

問 今後、選定委員会によって審査してから議会にかける予定。

観光課長 拠点整備交付金と地方創生推進交付金を改めて申請し、交付されるよう全力を尽くす。

問 「自然の里」は、観光情報発信基地・宿泊施設・体験施設として開設するということだが、情報発信基地はどこへ設置するのか。

観光課長 宿泊施設2人、地域おこし協力隊2人、食堂関係は食品衛生責任者の資格者1人とパート職員若干名とし、町民を優先採用していく。

民生委員の処遇について

問 民生委員は、法律上無報酬とされているが、交通費・通信費などの費用弁償

問 民生委員児童委員の定数は。

はあるのか。

福祉保健課長 山梨県から、年額5万9千円が支給されている。

問 ある民生委員から、必要な個人情報が得られなかったために、適切な措置が出来なかったということだった。町からの情報提供は。

福祉保健課長 民生委員は、個人情報保護法の規制を受けることはないが、情報提供には本人の同意を得る必要がある。生命・身体・財産保護のための情報は本人の同意無しでも提供することが認められている。今後は、職務遂行に必要な個人情報が必要に応じて提供されるよう努めていく。

その他の質問 RESAS（リーサス）の利用について

福祉保健課長 定数基準は世帯数で算出すると、本町では31名から86名だが、高齢化率や地理的条件等を考慮して102名としている。

“RESAS”（リーサス）とは

まち・ひと・しごと創生本部は、これまで経済産業省が開発を行ってきた「地域経済分析システム」、いわゆる「ビッグデータを活用した地域経済の見える化システム」を、経済分野に限らずさまざまなデータを搭載することで、地方自治体が「地方版総合戦略」の立案等をする際に役立てられるシステムへと再構築した。この「地域経済分析システム」は、英語表記(Regional Economy (and) Society Analyzing System)の頭文字を取って、“RESAS”(リーサス)と呼ぶ。

問 小中学校閉校後の校舎活用計画は

答 住民のニーズを踏まえ利活用を

農業振興対策は

問 あけぼの大豆の6次産業化に向けた具体策は。

産業課長 閉校後の原小学校校舎を活用し、あけぼの大豆拠点施設として整備し、新たな大豆加工等を手がけ、身延町版6次産業化に向けて努力したい。

問 産業課として農家に対して作付けを奨励する考えは。

産業課長 中山間地域総合整備事業で、相又・湯平において圃場整備中。また古長谷・矢細工と大塩に新しい圃場整備の検討を進めている。

問 中山間事業が行われた地域での有害鳥獣防止補助金復活の考えは。

産業課長 補助制度の見直し

は、町の財政負担を考慮しながら鋭意検討していきたい。

女性消防団員結成の考えは

問 団員不足を補うため、本町でも女性消防団結成の考えは。

総務課長 近隣町の状況を見ながら女性消防団員の確保について検討したい。



29年度消防団辞令交付式

下部地区小中学校閉校後の校舎活用計画は

問 下部地区から学校がなくなる。地区住民誰一人として学校がなくなると思った人はいないと思う。久那土地区は文教地区で、下部小中の五条が丘は高台の環境の良い場所である。それぞれ地域活性化を図るため行政としての計画は。

政策室長 身延町総合戦略の中で空き校舎等について地域住民のニーズを踏まえ利活用を図っていく。

役場組織機構改革は

問 合併後十数年経過し、総合戦略など新たな事業展開がみられるが組織機構の見直しを図り、効率的な事業展開が必要であると考え

が。

総務課長 職員の意識改革とともに今後検討していきたい。

町長 29年度1年かけて状況を見ながら組織改革についてもどうあるべきかと考えていきたい。それぞれの課が共通の認識を持って、すべてが一緒になって仕事は進めていくべきだと思っている。今後はありとあらゆる仕事について、課をまたいだ中でプロジェクトチームのような形で仕事を進めたい。

問 町民の声ポストの設置についての考えは。

政策室長 町のホームページの活用を図るため、広報誌やホームページでお知らせをしていく。

特別委員会レポート

予算審査特別委員会

委員長 広島 法明

問 みのぶ自然の里オープンは

答 来年4月にずれ込む

〔現地調査〕

◎身延清稜小学校

（大規模改修工事予定地）

◎下山小学校

（スクールバス発着場）

◎富士川クラフトパーク

（しだれ桜の里工事箇所県民
緑化まつり会場）

▼28年度一般会計補正予算

身延支所関係

問 門野の湯使用料が減った理由は。

答 27年度から70歳の有料化による利用者数の減少や機械点検等による休業期間があったためである。

政策室関係

問 地域おこし協力隊報償費・活動費を減額した理由は。

答 地域おこし協力隊は3人いるが、一人は10月採用で、他の2人は11月からの採用だった

ので減額した。

問 地域おこし協力隊の活動費の内容は。

答 3人とも産業課に所属し、あけぼの大豆の6次産業化のために従事しており、旅費・消耗品費・研修参加費等と住居費である。

生涯学習課関係

問 湯之奥金山博物館入館料が100万円増額だが、入館者は。

答 入館者数は27年度より少なくなる見込みだが、体験料と、体験と観覧がセットになっている共通券が売れているのが増額の要因。

産業課関係

問 28年度の有害鳥獣捕獲頭数の見込みは。

答 サル140頭、イノシシ

120頭、ニホンシカ460頭。

▼28年度下水道事業特別会計補正予算

環境下水道課関係

問 各処理区の下水道接続率はどうか。

答 下部処理区43.4%、中富処理区59.8%、帯金塩之沢処理区85.4%、角打・丸滝処理区75.8%、身延処理区47.5%、全体で59.1%である。

▼29年度一般会計予算

下部支所関係

問 下部支所管理費の役務費にWi-Fiの経費が計上してあるが。

答 下部保健福祉センターには既に設置しており、昨年11月から本庁、各支所でも使えるようになっている。

政策室関係

問 ふるさと納税による寄付金額が大幅に伸びているがどうしてか。

答 インターネットのふるさと納税情報サイトを活用することにより、今まで身延町を知らなかった人が身延町を知ってもらったきっかけになり、5倍ほどの寄付が望めるのではないかと考えている。

問 ふるさと納税を獲得するための返礼品競争が激化しているが、本町の返礼品は。

答 町内の商品や生産品を使って返礼品に充てている。町のPRを重視したものであり、返礼品優先とならないようにする。

問 出産祝金の予算要求額が大きいように思えるが算出根拠は。

答 第1子5万円×17人、第2子7万円×20人、第3子30万円×7人、第4子40万円×2人、第5子50万円×1人、合計で47人565万円である。

土地対策課関係

問 地籍調査から土地登記までの流れは。

答 1年目に地権者と現地立会いのもと筆界を決め測量し、2年目に図面を作成し、地権者に閲覧し同意を得る。3年目に国土交通省からの認証を得てから法務局に成果品を送付し、登記される。ただし、不同意の場合等により不測の期間を要することがある。

問 身延町地域公共交通活性化協議会負担金の内容は。

答 身延町地域公共交通活性化協議会で運営する乗合タクシー、デマンドの経費で、バスやオペレーターの人件費等である。

財政課関係

問 旧中富中学校不動産鑑定業務委託の目的は。

答 現在貸し出している企業から、校舎を買いたいとの話があったため、価格を算出するためである。

観光課関係

問 みのぶ自然の里は工事も進んでいない、交付金も決まっていない状態で7月から客の受け入れが出来るのか。

答 交付金が未決定なので、オープンはずれ込む。4月に交付金が決定されれば、それから準備となり、9月頃プレオープンをし、来年4月にグラントオープンを考えている。

現代工芸美術展を予定している。

建設課関係

問 急傾斜地崩壊対策費は県事業ということだが、この事業の対象となる採択条件は。

答 国事業の場合は、傾斜角度は30度以上、高さが10m以上、人家は10戸以上。県事業の場合は、傾斜角度は同じく30度以上だが、高さは5m以上、人家は概ね5戸以上である。

子育て支援課関係

問 学童保育指導員の応募状況は。

答 学童保育補助員を2人、放課後児童支援員を3人募集した。補助員は2人の応募があったが、支援員は現在2次募集している。

福祉保健課関係

問 緊急通報システム端末機器（ふれあいペンダント）の利用者は、また、利用条件等は。

答 町では211台保有し、現在140人に無償貸与している。利用者は虚弱な1人暮らし高齢者や老夫婦世帯で、携帯電話を所有せず、固定電話が設置されている家庭が対象である。

である。

問 敬老祝金の支給人数は。

答 77歳対象者は183人、88歳から99歳までの対象者は1093人、百歳以上は32人、満百歳長寿祝金は19人を見込んでいる。

総務課関係

問 身延断層が発表され、心配されるが、関連する業務は。また、国の調査を待つだけでなく、防災面で積極的にできることがあるのでは。

答 政府見解を見ながらの業務になるが、町でも備蓄食材・飲料水などを3日分から1週間分に増量し、毛布や簡易トイレ、処理剤も防災費に計上した。

問 防災備蓄について、災害に対応した備蓄先はどのような考えか。

答 全ての地域とはいかないが、空き校舎の二室に備蓄するなど、耐震施設を利用した備蓄先も考える。

学校教育課関係

問 身延断層等災害の危険が叫ばれるなか、中学校の新校舎建設はどのような位置づけか。

か。

答 町立学校施設整備計画策定業務委託費を計上し、建物老朽化調査、基本計画策定業務、軟弱地盤解析業務、構造安全性確認業務を行い、その計画の中で中央へ建設する方向で検討する。

問 就学援助費の内容と周知方法は。

答 学用品費、校外活動費、通学用品費、学校給食費、修学旅行の保護者負担分の軽減を図る。周知方法は、学校経由で児童生徒に配布するとともに、ホームページへの掲載、継続受給の区域外就学者にも通知する。

▼29年度国民健康保険特別会計予算

町民課関係

問 特定健診の受診率向上には、どのような方策を講じているか。

答 広報でのお知らせ、健診申込書の送付の際の受診勧奨のほか、業務委託による受診勧奨ハガキの送付や電話での受診勧奨を実施している。

レポート

総務産業建設常任委員会

委員長 広島 法明

問 町内業者への発注増大は

答 町内業者への発注を重視する

▼第二次総合計画基本構想の 制定

問 基本構想に関わる基本計画の策定は。

答 基本構想と同時に前期基本計画案を策定している。今回の議決後に冊子として策定する。

問 第一次総合計画の反省をもとに作成されているのか。

答 第一次総合計画10年計画の実施については前期・後期において施策を実施してきた、PDCAサイクルにより状況判断し、毎年計画の見直しを行い実施している。

問 数値目標による成果の判

断が必要と思うが、このことについて考えは。

答 第一次では数値目標はなかった。施策によっては無理だが、できる範囲で5年後の目標数値を設け、施策に取り組みたい。

※この件のみ教育厚生常任委員会との連合審査

▼中小企業・小規模企業振興 基本条例の制定

観光課関係

問 町内の中小企業の件数はいくつか、その区分は。

答 平成27年度は中小企業は33者、小規模企業は1010者で、その区分は中小企業基本法で区分されている。

問 町が発注する工事につき

町内の中小企業等への受注機会を増大するとあるが、どう対応していくか。

答 現在も町内事業者への発注、物品購入等を重視しているが、今後も財政課等と連携し対応する。

▼町営バス設置条例の一部改正 政策室関係

問 4月から中富南線を廃止するというが、曙・大須成を循環するこの路線の沿線の住民にとっては重要な路線なので、何らかの形で運行継続できないか。

答 運行計画見直しの際、特に利用率が低い路線は継続が難しく止む無く廃止の判断をしたが、利便性を考慮して乗り合いタクシーでの定時運行を検討する。

問 民間事業者主体の営業路線を緑ナンバーに切り替えるのはなぜか。

答 緑ナンバーが運行していない交通空白地帯の場合、町が運行の許可を受けて町営バス路線として白ナンバーで運行している。今回の路線は交通空白地帯ではないため、緑ナンバーで運行する。



運行する町営路線バス

常 任 委 員 会

教育厚生常任委員会

委員長 田中 一泰

子育て支援課関係

▼特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例の一部改正

問 条例改正によって、どれくらい町の負担額が増えるのか。

答 幼稚園について該当者はいない。保育園については現時点で4世帯4人13万6800円となる。

問 契約書には、記載していない。

答 入札見積書のチェックは、所管課の職員が一人で行い、入札者が多ければ手分けで1社毎、別の職員が行う場合もある。

問 入札見積書のチェックは、所管課の職員が一人で行い、入札者が多ければ手分けで1社毎、別の職員が行う場合もある。

問 入札見積書のチェックは、所管課の職員が一人で行い、入札者が多ければ手分けで1社毎、別の職員が行う場合もある。

問 入札見積書のチェックは、所管課の職員が一人で行い、入札者が多ければ手分けで1社毎、別の職員が行う場合もある。

問 入札見積書のチェックは、所管課の職員が一人で行い、入札者が多ければ手分けで1社毎、別の職員が行う場合もある。

問 入札見積書のチェックは、所管課の職員が一人で行い、入札者が多ければ手分けで1社毎、別の職員が行う場合もある。

問 入札見積書のチェックは、所管課の職員が一人で行い、入札者が多ければ手分けで1社毎、別の職員が行う場合もある。

問 入札見積書のチェックは、所管課の職員が一人で行い、入札者が多ければ手分けで1社毎、別の職員が行う場合もある。

答 設計書や仕様書がチェックリストであり、項目、数量、金額等をチェックしている。

問 財政課のチェックも必要ではないか。

答 入札、契約の所管は、財政課なので入札書のチェック、契約の締結については財政課が行う。入札見積書のチェックは、学校教育課が行わなければならない。

問 今後のチェック体制はどうするの。

答 今回のスクールバス購入に際し、仕様書で車両登録、新車購入に係る登録手数料（公課費、保険料、法定費用など）を含めることとし、入札を執行した。再発防止に向け、体制、方法などを整える。

問 今後のチェック体制はどうするの。

答 今回のスクールバス購入に際し、仕様書で車両登録、新車購入に係る登録手数料（公課費、保険料、法定費用など）を含めることとし、入札を執行した。再発防止に向け、体制、方法などを整える。

問 今後のチェック体制はどうするの。

問 今後のチェック体制はどうするの。



購入するスクールバス

質疑応答

議案第3号

▼中小企業・小規模企業振興基本条例の制定

渡辺議員 教育機関の役割とか、協議会等の設置について謳われていないが入れるべきではないか。

観光課長 今後、内容や設置の必要性等を検討する。

渡辺議員 町内業者を優先するための今後の重点は。

観光課長 できるだけ地元が潤うような形の購入方法を考える。

財政課長 現在指名競争入札を行っているが、町内優先に進めている。

議案第8号

▼町営バス設置条例の一部改正

渡辺議員 既路線について改正案を作成する前に利用者の意見を聞く機会を作らなかったのか。

政策室長 関係する地域で説明会を実施したが、結果として町の方針の説明になった。今後町民の皆様に理解されるような形で説明をしていく。

深澤議員 甲斐岩間駅への乗り入れは、町民に説明された後乗り入れしないことに変更された。このことについて、町ではどのように捉え、町民周知はどのようにするのか。

政策室長 町としても期待していたが、大変残念に思っている。町民の皆様には広報等で周知する。

議案第24号

▼29年度一般会計予算

芦澤議員 一般職員が前年度に比較して4名増加している。退職と採用の職員数及び新採用職員の学歴の内訳は。

総務課長 退職者4名、新採用8名で、平成31年頃に約16名の退職が見込まれることから、職員の平準化を図るため調整を始めた。新採用者の内訳は大卒7名、高卒1名となっている。

議案第47号

▼西島第一橋橋梁修繕工事請負契約の一部変更

芦澤議員 この修繕工事はいつ頃までに終わるのか。

建設課長 29年3月31日が終了予定。

芦澤議員 工事の進捗状況から、このことはとづくに分かっていたのではないかと、最近になって分かったものか。

建設課長 変更を全体的にまとめるため、現場からあがって来た数量がこの時期になったことによる。



完成間近の西島第一橋

討 論

議案第8号

▼町営バス設置条例の一部改正

反対 渡辺議員

利用者が少ないと言う理由で廃止することは賛成できない。中富南線は無料が200円になり、今度は廃止とは納得できないので反対。

賛成 赤池議員

中富南線を廃止後、小型の自動車を利用することにより集落の中まで運行することで利便性が増すと考えるので賛成。

反対 川口議員

地域住民に詳細説明も

なく突発的に計画された改正である。自然の里も観光拠点として計画されている中で逆行した施策なので反対。

賛成 柿島議員

町内全域の状況を把握しながら効率的に運行するため、財政状況も踏まえ既設路線の廃止もやむを得ない。代替として、乗合タクシーの充実により利便性の向上を図ることとしているので賛成。

議案第24号

▼29年度一般会計予算

反対 深澤議員

○ 自然の里の指定管理料は交付金申請書の提出が可能となった段階で計上するのが道筋であるので反対。

○ 旧中富中学校の貸付料99万5750円の計上がない。地方自治法210条では総計予算主義の原則から法に抵触すると思われる予算のため反対。

賛成 柿島議員

この事業は昨12月議会において承認されている。事業を推進するため

の地方創生推進交付金を申請するために必要な予算計上であるので賛成。

反対 渡辺議員

○ 自然の里の施設を観光の拠点として活用する計画だが、確実性が見えないので反対する。

○ 入学祝金は入学準備の出費を補填するのが目的であるので入学前に支給し入学準備に間に合わせるべきなので反対。

賛成 川口議員

自然の里事業については、昨年12月議会において設置条例が制定され、計画を進める上において、新年度予算に計上することは当然であるので賛成。

反対 芦澤議員

○ 財産貸付収入の町有地貸付料が計上されていない。大きなミスである。

○ 2月臨時議会で「みのぶ自然の里条例」が議決されたが、交付金が出るかわからない現状で実施できるのか疑問であるので反対。

○ 下山小学校の帰りのスクールバスは全員同時下校ということと、「低学年を早く帰らせてもらえないか」という保護者の

意見もある。少数意見であつても大切にしてい、一年生にはできるだけ配慮すべきであるので反対。

賛成 福與議員

○ 旧中富中学校貸付料の不計上については、担当者の責任は免れることはできないが、予算不成立は行政執行上甚大な被害が及ぶことが明白であるので賛成。

○ 自然の里について、減衰していく観光産業に歯止めをかけると同時に交流人口を増やし、活力ある経済活動の拡大を期待する。

反対 田中議員

自然の里は地形的にも厳しいと考える。今後町の大きな負担にならないよう十分な計画を再検討すべきであるので反対。

賛成 河井議員

この事業は観光の発展に寄与するものであるもので賛成。

議案第27号

▼29年度介護保険特別会計予算

反対 渡辺議員

改定のために国は先に財政ありきで制度を改定し、住民の負担が増えるばかりだ。国庫負担を増やすなどした介護保険制度にすべきなので反対。

賛成 柿島議員

被保険者のサービス利用が滞ることのないよう予算編成されたものであるので賛成。

議案第48号

▼財産の取得についての議決の一部変更

反対 芦澤議員

スクールバス5台を購入する件については市町村に対しては取得税を課すことができないという規定に反して取得税を計上したことが判明し減額するもので、極めて初歩的なミスで行政の怠慢なので反対。

賛成 福與議員

教育長がミスを認め、二度とこのようなことを起こさないと発言もして謝罪されたので賛成。

議案に対する賛否 (賛成:○・反対:×・棄権:△)		赤池朗	田中一泰	広島法明	柿島良行	芦澤健拓	河井淳	福與三郎	草間天	川口福三	渡辺文子	伊藤文雄	深澤勝	野島俊博
●条例の一部を改正する条例														
議案第 8号	身延町身延町町営バス設置条例の一部を改正する条例について	町営バス路線の改廃												
		○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	
●平成29年度当初予算														
議案第24号	平成29年度身延町一般会計予算	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	
議案第26号	平成29年度身延町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	
議案第27号	平成29年度身延町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	
●その他														
議案第48号	財産の取得についての議決の一部変更について	スクールバスの契約変更												
		○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	

●議長は採決に参加しない

- 全員賛成にて可決・同意されたもの
- ・議案第3号 身延町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について
 - ・議案第4号 身延町町営駐車場条例の一部を改正する条例について
 - ・議案第5号 身延町職員給与条例の一部を改正する条例について
 - ・議案第6号 身延町職員の育児休業等に関する条例及び身延町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
 - ・議案第7号 身延町特定個人情報保護条例の一部を改正する条例について
 - ・議案第9号 身延町税条例等の一部を改正する条例について
 - ・議案第10号 身延町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について
 - ・議案第11号 身延町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例について
 - ・議案第12号から15号までの各指定管理者の指定について
(下部農村文化公園、市之瀬味噌加工所、市之瀬茶加工場、大島農林産物直売所)
 - ・議案第16号 峡南広域行政組合規約の変更について
 - ・議案第17号 平成28年度身延町一般会計補正予算(第8号)
 - ・議案第18号から23号までの各平成28年度特別会計補正予算
 - ・議案第25号、28号から44号までの各平成29年度特別会計予算
 - ・議案第45号 身延町第二次総合計画基本構想の策定について
 - ・議案第46号 身延町過疎地域自立促進計画の変更について
 - ・議案第47号 西島第一橋橋梁修繕工事請負契約の一部変更について
 - ・同意第1号及び第2号の財産区管理会委員の選任について

平成29年臨時会

第1回(2月2日)

- ・身延町みのぶ自然の里条例の制定について
賛成6・反対5 可決
- ・平成28年度一般会計補正予算
賛成10・反対1 可決
- ・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
全員異議なしにて適任

第2回(3月28日)

- ・公益法人等への身延町職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について
全員賛成で可決
- ・身延町副町長の選任について
賛成8・反対4 同意



副町長 瀧本勝彦 氏

民生委員・児童委員と 議員との懇談会



＊とき 平成29年2月1日(水)

午後1時30分から午後3時15分

＊会場 中富総合会館

＊参加者 計54人

民生委員児童委員32人

議員13人 事務局2人

福祉保健課・下部支所・身延支所 7人

活動発表

日頃から委員として活動する中での内容や課題を各3地区の方に発表していただいた。

●下部地区委員

- 月に一度のふれあい訪問を実施。
- 雪かき・重量物の運搬・ゴミ出し等のお手伝い。
- 生活困窮者が増えているようだ。
- もしもの時に備え家族等の連絡先を確認しておく。

●中富地区委員

- 高齢者が多い集落では委員をする人がいないので長期間にわたって委員を務めなければならない。
- 住んでいないのに委員を受けている人もいる。
- 訪問する際は玄関までとし、家の中には上がらない。

●身延地区委員

- 訪問する時に親しく話をすることによりお互いの親近感が増す。
- 敬老会での食事は食生活改善推進員にお願いし、酒は出さない。
- 健康体操やコーラスをして楽しみ健康に暮らす。

意見・要望

- 個人情報保護法の関係で情報が少ないので民生委員に情報提供ができないか。
- 乗り合いタクシーの使い勝手が良くない。
- デマンドタクシーの利用範囲を拡大して欲しい。
- 仲間の体験談は参考になった。
- もっと気軽な会にして回数を増やしてほしい。

民生委員・児童委員とは

厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々であり、「児童委員」を兼ねています。

報酬など：

ボランティアとして活動するため給与はなし。ただし、必要な交通費・通信費・研修参加費などの活動費(定額)は支給。活動上知り得た情報について守秘義務が課せられています。

組合議会報告

峡南衛生組合議会

- 定例会 29年3月27日(月)
議案第1号 28年度峡南衛生組合一般会計補正予算(第4号)
議案第2号 29年度峡南衛生組合一般会計予算

飯富病院議会

- 定例会 29年3月29日(水)
議案第1号 条例の一部改正
議案第2号 事業会計補正予算
議案第3号 平成29年度事業会計予算
松浦議員の逝去に伴い広島法明議員が後任となった。

峡南広域行政組合議会

- 視察研修 29年1月30・31日
研修先 長野県伊那市にある上伊那広域消防組合
- 議員全員協議会 2月28日(火)
組合の主要事業である計算センター・消防署・特別養護施設の28年度の活動報告を受け、今後の方針などを協議。
- 定例会 29年3月29日(水)
28年度補正予算及び29年度当初予算



上伊那広域消防組合視察

★表紙について (No.49-p1)

- ・雪まじりの表現が良かったと思いますが、毎年同じような構図で新鮮味が薄かった。

★町民と議員との懇談会 (No.49-p3~5)

- ・懇談会はもっと多くの町民に集ってもらう事がこれからの希望になると思う。若い人たちに多くの意見を聞くことが良いかと思う。それを実現するにはどうするか。気軽に意見を言えるような方法を考えたかどうか。
- ・毎回町民の参加が少ないように思えるが、開催日時の徹底や区長なりに区民の参加を要請するなどして多くの町民が参加してもらえよう。

★質疑応答 (No.49-p17)

- ・農業委員はどのような構成になっているのか。認定農業者とはどのような人か。一般町民にはわからないので注釈でもつけてその内容を記載してほしい。

★討論 (No.49-p18~19)

- ・自然の里に関し、とても興味深かった。町民としても、高齢化、人口減、税収減等を考えても危険な事業のように思われる。
- ・紆余曲折があった青少年自然の里が県から町に移管され維持管理されていくことになったが、厳しい財政事情を慎重に考慮しながら町民に負担のかからない運営をお願いしたい。

★議案に対する賛否 (No.49-p20)

- ・請願1号と発意1号の違いは何が違うのかわからない。
- ・代り映えがしないですね。いつもの議員さんがいつものコースと感じます。

★モニター通信 (No.49-p23)

- ・モニターさんの中にもいろいろな意見をお持ちのようで大変参考になります。

モニター通信

(議会だよりNo.49の意見・感想等)

議会広報モニターの皆様のご意見・ご感想等を要約したものです。貴重なご意見等を参考に、町民の皆様の「心に伝わる」議会だよりを目指します。

★一般質問 (No.49-p6~13)

- ・町民が減少していく中で、31年度の職員が現在より増える計画はなぜか。
- ・学校統合により新しい学校の建設は早い方が良いと思う。子供を育てやすい町でないと若い人は移住しないと思う。自然は素晴らしいが、人と人との関わりは多い方が良くと思う。中部横断道ができることにより、素通りされないために魅力ある町を作してほしい。

★町長あいさつ (No.49-p2)

- ・地方交付税の縮減等で年々町財政も厳しい状況にあることは良く分かります。私たちくらいの年齢になると他所には出ていけないのですが、若い人達が本当に「生まれてよかった 育ってよかった 住んでよかった」と思える町づくりをお願いします。

★常任委員会レポート (No.49-p14~15)

- ・なかとみ自然の里の施設は町では何を目的に改修をしようとしているのか、どれくらいの町民が理解しているのか疑問に感じます。県から押しつけられたのではないのでしょうか。
- ・「リンケージ農園」についての説明欄を設けてほしかった。

★追跡 (No.49-p16)

- ・新規狩猟免許取得者への助成制度は実施してほしい。高齢化とのか、若い方たちの取得に期待したい。
- ・一般的に各種免許の取得に関しては、個人の財産になるものであるから費用は自己負担している。公平性を保つためにも狩猟についても助成は不要と考える。
- ・もう少し数多く掲載してほしい。

★おじゃまします (No.49-p21~22)

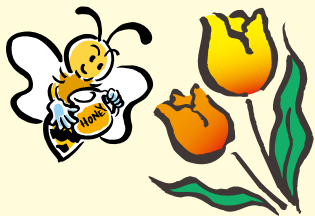
- ・20リットルのゴミ袋が一寸小さいような気がします。240円と金額は安くなっているようですが、どこかの自治体でこの小さいゴミ袋を大量に抱えて問題になっていました。そういうことがないようにしてもらいたいです。
- ・議員それぞれの質の向上と議員の認識を深める為の研修は大いに行ってください。

★おじゃまします (No.49-p24)

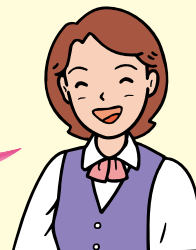
- ・「結の里しもべ」の皆さまの活動は他の地域でも参考になると思います。これからますます遊休農地が増えていく中で、我々もまた町でも大いに参考にしながら友好的な活用方法を考えていく必要があると思います。

★町政全般についての意見、要望等

- ・久遠寺境内のしだれ桜が人気となっていますが、久遠寺周辺の桜も隠れた人気です。しかし、近年老木が目立ち、この先心配です。今から若い木を育てていくことが肝心だと思います。町としても一考願います。



おじゃまします



認知症予防リハビリ太鼓 飯富太鼓



飯富太鼓保存会は太鼓の文化的活動と同時に、太鼓を利用して認知症予防の健康維持活動を始めました。

健康寿命を延ばし、幸せに長生きするため、楽しく努力してみませんか。

現在12人の方が世間話に話を映かせながら元気に太鼓を叩いています。教室への参加者を募集しています。お気軽にお問い合わせやご見学ください。

ぜひ一緒に活動しましょう。

初心者歓迎。お気軽にお問い合わせください

090-5503-6145

飯富太鼓保存会 山下まで



演奏を楽しむ参加者たち

和太鼓の認知症予防効果

関西学院大学は、これまで認知症予防の音楽療法で定評のあった和太鼓の効果を初めてデータで明らかにしました。

研究は和太鼓を演奏したときの脳の活動を分析したもので打つと前頭前野の脳血流に大きな変化が見られたことを突き止めました。

また、和太鼓は複数で打つと大きな効果があることもわかりました。

さらに和太鼓は脳の活性化だけでなくリラクゼーションの効果、ストレスの発散も期待できます。

決定

町民と議員との懇談会

- 5月26日(金)午後7時30分
久那土：働く婦人の家
- 5月27日(土)午後7時30分
身延町総合文化会館
- 5月28日(日)午後7時30分
飯富ふれあいセンター

※詳しくは、回覧等でお知らせします。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

平成17年11月に初当選され、本町議会議員として活躍してこられた、松浦隆議員(66歳)が、平成29年2月9日逝去されました。

議員在職中は、総務産業建設常任委員会委員長、議会運営委員会副委員長、飯富病院組合議会議長、また、町の体育協会会長などの要職に就かれるなど、町政発展に御尽力くださいました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

身延町議会

松浦隆議員逝去